# C/CV シリーズ上位リンク ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	15
3	通信設定例	16
4	設定項目	70
5	結線図	75
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



# 1 システム構成

表示器とオムロン(株)製接続機器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
SYSMAC C		C200H-LK201 <sup>1</sup> C120-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 1 (16ページ)	結線図 1 (75 ページ)
	С200Н	C200H-LK202 <sup>1</sup> C120-LK202-V1 <sup>2</sup>	RS422/485 (4線式)	設定例 2 (19ページ)	結線図 2 (77 <b>ページ)</b>
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 2 (19ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
	C200HS	C200H-LK201 <sup>1</sup> C120-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 1 (16ページ)	結線図 1 (75 ページ)
		C200H-LK202 <sup>1</sup>	RS422/485 (4線式)	設定例 2 (19ページ)	結線図 2 (77 <b>ページ)</b>
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 2 (19 ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
		CPU ユニット上のリ ンク I/F <sup>3</sup>	RS232C	設定例 3 (22ページ)	結線図 3 (83 ページ)
		CPU ユニット上のペ リフェラレルポート	RS232C	設定例 4 (24 ページ)	結線図 4 (84ページ) 4

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C120-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 1 (16 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (19 ページ)	結線図 2 (77 <b>ページ</b> )
		C120-LK202-V1 <sup>2</sup>	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 2 (19 ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
	C500		RS232C	設定例 5 (26 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
	C500F C1000H C2000	C500-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (29 ページ)	結線図 2 (77 ページ)
	C2000H		RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
		C500-LK203 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 5 (26 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
			RS422/485 (4線式)	設定例 6 (29 ページ)	結線図 5 (85 ページ)
SYSMAC C			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 15 (128ペー ジ)
		C500-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 5 (26 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
			RS422/485 (4線式)	設定例 6 (29 ページ)	結線図 2 (77 ページ)
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
			RS232C	設定例 5 (26 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
		C500-LK203 <sup>2</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (29 ページ)	結線図 5 (85 ページ)
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 6 (29 ページ)	結線図 15 (128ペー ジ)
	C20H C28H C40H	CPU ユニット上のリ ンク I/F <sup>3</sup>	RS232C	設定例 7 (32 ページ)	結線図 6 (91 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C120-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 1 (16 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
	C20PF C28PF C40PF		RS422/485 (4線式)	設定例 2 (19 ページ)	結線図 2 (77 <b>ページ</b> )
	C60PF	C120-LK202-V1 <sup>2</sup>	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 2 (19 ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
		C120-LK201-V1 <sup>2</sup>	RS232C	設定例 1 (16ページ)	結線図 1 (75 ページ)
	C120 C120F		RS422/485 (4線式)	設定例 2 (19 ページ)	結線図 2 (77 <b>ページ</b> )
		C120-LK202-V1 <sup>2</sup>	RS422/485 (4 線式 ) マルチリンク	設定例 2 (19 ページ)	結線図 14 (123ペー ジ)
	CQM1-CPU11	CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (34 ページ)	結線図 4 (84ページ) 4
SYSMAC C	CQM1-CPU21 CQM1-CPU41 CQM1-CPU42 CQM1-CPU43 CQM1-CPU44 CQM1-CPU41-V1 CQM1-CPU42-V1 CQM1-CPU43-V1 CQM1-CPU44-V1	CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (36 ページ)	結線図 3 (83ページ)
		CPU ユニット上のペ リフェラレルポート	RS232C	設定例 8 (34 ページ)	結線図 4 (84 ページ) 4
		CPU ユニット上のペ リフェラレルポート	RS232C	設定例 8 (34 ページ)	結線図 4 (84ページ) 4
	CPM1	CPM1-CIF01	RS232C	設定例 10 (38 ページ)	結線図 3 (83ページ)
	CPM1A-V1		RS422/485 (4線式)	設定例 11 (40ページ)	結線図 7 (92 ページ)
		CPM1-CIF11	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 11 (40ページ)	結線図 16 (133ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上の RS232C ポート	- RS232C	設定例 9 (36 ページ)	結線図3
	SRM1-C02	CPM1-CIF01	K5252C	設定例 10 (38 ページ)	(83ページ)
	CPM2A		RS422/485 (4線式)	設定例 11 (40 ページ)	結線図 7 ( 92 ページ )
		CPM1-CIF11	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 11 (40 ページ)	結線図 16 (133ペー ジ)
	CPM2C	CPU ユニット上のペ リフェラレルポート	RS232C	設定例 8 (34 ページ)	結線図 9 (101 ペー ジ) <sup>4</sup>
		リノエラレルホート		設定例 8 (34 ページ)	結線図 8 (99 ページ)
		CPM2C-CIF01 上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 12 (42ページ)	結線図 9 (101 ペー ジ) 4
SYSMAC C		CPM2C-CIF01 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 13 (44 ページ)	結線図 3 (83ページ)
		CPM2C-CIF11 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 14 (46 ページ)	結線図 3 (83ページ)
		CPM2C-CIF11 上の端 子台	RS422/485 (4線式)	設定例 15 (48 ページ)	結線図 10 (102ペー ジ)
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 15 (48 ページ)	結線図 17 (138ペー ジ)
		CPU ユニット上のペ リフェラレルポート	RS232C	設定例 8 (34 ページ)	結線図 9 (101 ペー ジ) 4
	CQM1H-CPU21			設定例 8 (34 ページ)	結線図 8 (99 ページ)
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (36 ページ)	結線図 3 (83ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
SYSMAC C	CQM1H-CPU51 CQM1H-CPU61	CPU ユニット上のペ リフェラレルポート	RS232C	設定例 8 (34 ページ)	結線図 9 (101 ペー ジ) 4
				設定例 8 (34 ページ)	結線図 8 (99 ページ)
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (36 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
		CQM1H-SCB41 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 16 (50 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
		CQM1H-SCB41 上の RS422A/485 ポート	RS422/485 (4線式)	設定例 17 (52 ページ)	結線図 11 (109 ペー ジ) <sup>5</sup>
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 17 (52 ページ)	結線図 18 (146ペー ジ) <sup>5</sup>

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 18 (54 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
		C200HW-COM02-V1	RS232C	設定例 19 (56 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
		C200HW-COM03-V1 -	RS422 (4線式)	設定例 20 (58 ページ)	結線図 11 (109 ペー ジ)
	C200HE-CPU42 C200HG-CPU63 C200HG-CPU43 C200HX-CPU64 C200HX-CPU44 C200HE-CPU42-Z C200HG-CPU63-Z C200HG-CPU43-Z C200HX-CPU85-Z C200HX-CPU65-Z C200HX-CPU64-Z C200HX-CPU44-Z		RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 20 (58 ページ)	結線図 18 (146 ペー ジ)
		C200HW-COM04-V1	RS232C	設定例 19 (56 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
		C200HW-COM05-V1	RS232C	設定例 19 (56 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
STOMAC		C200HW-COM06-V1	RS232C	設定例 19 (56 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
			RS422 (4線式)	設定例 20 (58 ページ)	結線図 11 (109 ペー ジ)
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 20 (58 ページ)	結線図 18 (146 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (16ページ)	結線図 1 (75 ページ)
			RS422 (4線式)	設定例 2 (19ページ)	結線図 2 (77 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 2 (19ページ)	結線図 14 (123 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C200HW-COM02-V1	RS232C	設定例 19 (56 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
			RS422 (4線式)	設定例 20 (58 ページ)	結線図 11 (109 ペー ジ)
		C200HW-COM03-V1	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 20 (58 ページ)	結線図 18 (146 ペー ジ)
	COOLIN CDU24	C200HW-COM04-V1	RS232C	設定例 19 (56 ページ)	結線図 3 (83 ページ)
	C200HX-CPU34 C200HX-CPU54 C200HX-CPU34-Z	C200HW-COM05-V1	RS232C	設定例 19 (56 <b>ページ</b> )	結線図 3 (83 ページ)
SYSMAC	C200HX-CPU54-Z C200HE-CPU32 C200HE-CPU32-Z C200HG-CPU33 C200HG-CPU53 C200HG-CPU53-Z	C200HW-COM06-V1	RS232C	設定例 19 (56 <b>ページ</b> )	結線図 3 (83 ページ)
			RS422 (4線式)	設定例 20 (58 ページ)	結線図 11 (109 ペー ジ)
			RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 20 (58 ページ)	結線図 18 (146 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (16ページ)	結線図 1 (75 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422 (4線式)	設定例 2 (19 ページ)	結線図 2 (77 ページ)
			RS422/485 ( 4 線式 ) マルチリンク	設定例 2 (19 ページ)	結線図 14 (123 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (16 ページ)	結線図 1 (75 ページ)
	C200HE-CPU11 C200HE-CPU11-Z		RS422 (4 線式)	設定例 2 (19ページ)	結線図 2 (77 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422/485 (4線式) マルチリンク	設定例 2 (19ページ)	結線図 14 (123 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
SYSMAC CV	CV500 CV1000 CV2000 CVM1 CVM1D	CV500-LK201	RS232C (通信ポート 1 接続)	設定例 21 (60ページ)	結線図 1 (75 ページ)
			RS232C (通信ポート 2 接続)	設定例 22 (62 ページ)	結線図 12 (116 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式) (通信ポート 2 接続)	設定例 23 (64 ページ)	結線図 13 (117 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式) マルチリンク	設定例 23 (64 ページ)	結線図 19 (154 ペー ジ)
		CPU ユニット上のリ ンク I/F <sup>6</sup>	RS232C	設定例 24 (66 ページ)	結線図 12 (116 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式)	設定例 25 (68 ページ)	結線図 13 (117 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式) マルチリンク	設定例 25 (68 ページ)	結線図 19 (154 ペー ジ)

1 ベース取り付けタイプです。

2 CPU 取り付けタイプです。

3 RS232C ポートに接続します。

4 市販の9ピン-25ピン変換アダプタが必要です。

5 2線/4線切り替えスイッチを4線に設定してください(4線式のみ使用可能)。

6 HOSTLINK ポートに接続してください。

重要	<ul> <li>SYSMAC- シリーズの場合は以下の点にご注意してください。</li> <li>存在しないデータメモリエリア (DM6656 ~ DM6999) にアクセスを行った場合の動作は保証できません。</li> <li>拡張固定 DM の設定を行わずに DM7000 ~ DM9999 にアクセスを行った場合の動作は保証できません。</li> </ul>
	<ul> <li>拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できません。</li> </ul>

# 接続構成

1:1 接続



• 1:n 接続

最大接続台数16台(RS422/485接続時)



• n:1 接続(マルチリンク接続)

最大接続台数16台 表示器 表示器 表示器

MEMO • 最大接続台数は 16 台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4 台 までの接続を推奨します。 • n:m 接続(マルチリンク接続)



 最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台 までの接続を推奨します。

MEMO

IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S/11 - 7	使用可能ポート			
	RS-232C	RS-422/485(4 線式 )	RS-422/485(2 線式 )	
PS-2000B	COM1 <sup>1</sup> , COM2, COM3 <sup>1</sup> , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 <sup>1</sup>	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 <sup>1</sup> COM2 <sup>1</sup> COM3 <sup>2</sup> COM4	COM3 <sup>2</sup>	COM3 <sup>2</sup>	
PS-3711A	COM1 <sup>1</sup> , COM2 <sup>2</sup>	COM2 <sup>2</sup>	COM2 <sup>2</sup>	
PL-3000B、PL-3600T、 PL-3600K、PL-3700T、 PL-3700K、PL-3900T	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup> COM2 <sup>1</sup> COM3 COM4	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF <sup>1</sup>	予約(常時 OFF)
2	OFF	通信古式・BS 222C
3	OFF	□□□/J1/ · K3-232C
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効
10	OFF	

1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。 ディップスイッチの設定: RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 通信古式・BS 422/485	
3	ON		
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF <sup>1</sup>	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効	
10	OFF <sup>1</sup>		

1 接続構成が n:1 接続 (マルチリンク接続)および n:m 接続 (マルチリンク接続)の場合 のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 通信士士・BS 400/495	
3	ON	地后力式. KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	DS(DTS) 白動制御エード・右効	
10	ON		

# 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

ð	プロジェクト	ファイルの新規作品	Ś.		×
Γ	接続機器				
	メーカー	オムロン(株)			•
	シリーズ	0/0V シリーズ 上f	立リンク		-
	🗆 システ	ムエリアを使用する		この接続機器のマ	ニュアルを見る
ſ	接続方法				
	ポート	COM1	•		
				機器接続	<u>売マニュアルへ</u>
		戻る	通信の詳細設定	画面作成	キャンセル

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「オムロン㈱」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「C/CV シリーズ 上位リンク」を選択します。 「C/CV シリーズ上位リンク」で接続できる接続機器はシステム構成で確認して ください。 <sup>GPP</sup> 「1システム構成」(3ページ)
システムエリアを使用 する	<ul> <li>表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。</li> <li>参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用)」</li> <li>この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。</li> <li>参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.17.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド システムエリア設定」</li> <li>参照:保守/トラブル解決ガイド「2.15.1 表示器共通」 [本体設定]の設定ガイド システムエリア設定</li> </ul>
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

# 3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

援続	最齢1				
概要	ļ.				接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (ロノロン	(シリーズ 上位リンク	ポート COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式	) C RS422/485(4線)	(75
	通信速度	19200	•		
	データ長	⊙ 7	C 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	01	● 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	р 🔆 (л	ns)		
Γ	RI / VCC	• RI	O VCC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	静ピンをRI(入力)(ご ます、デジカル制RS	するかVCC(5V電源供給 2320 アイソルーションコ		
	トを使用する場合は	、VCCを選択してく	ださい。	2011年1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 再確認してくな	● C リンク Eした場合は、すでにf ざい。	○ CV リンク 東用されているアドレスを
号機 No.	0 .	
動作モード 運転モードの場合	▼ モニタモードへ ふ、表示器からの書込	変更 みはエラーになります。
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

## 接続機器の設定

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

C200H-LK201 の場合

ロータリースイッチ	設定	設定内容	
SW1	0	号機 No. × 10	
SW2	0	号機 No. × 1	
SW3	6	伝送速度: 19.2Kbps	
SW4	2	7bit 長、2 ストップビット、偶数	
ディップスイッチ (背面)	設定	設定内容	
SW1	OFF	未使用	
SW2	OFF	未使用	
SW2 SW3	OFF ON	未使用 1:N 手順	

CTS 制御は 0V (常時 ON)にしてください。

C120-LK201-V1 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	+ († 17
SW7	OFF	木使用
SW8	ON	運転
ディップスイッチ 2	設定	
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	ON	伝送速度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	
SW8	ON	レベル1,2,3有効
ディップスイッチ 3	設定	
SW1	ON	
SW2	OFF	CTS 常時 ON
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	内部同期
SW6	OFF	
SW7	OFF	
SW8	OFF	未使用

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	I	シリーズ JC/CV シリーズ 上位リンク	ポート  COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	<u>U</u>
	通信速度	19200	T	
	データ長	7     7	○ 8	
	パリティ	○ なし	<ul> <li>・ 偶数</li> <li>C 奇数</li> </ul>	
	ストップビット	O 1	• 2	
	フロー制御	○ なし	● ER(DTR/CTS)	
	タイムアウト	β 📑 (s	ec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🚊 (r	ns)	
	RI / VCC RS232Cの場合。99	◎ RI 郵ビンをRI(入力)に	C VCC するかVCCGV運運供給)	
	にするかを選択でき トを使用する場合に	ます。デジダル製RS t、VCCを選択して	2320アイソレージョンユニッ ださい。	定

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>© 0 リンク</li> <li>© 0 V リンク</li> </ul>
シリーズを変活 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを だざい。
号機No.	0 😐
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

## 接続機器の設定

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

C200H-LK202 の場合

ロータリースイッチ	設定	設定内容
SW1	0	号機 No. × 10
SW2	0	号機 No. × 1
SW3	6	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	2	7bit 長、2 ストップビット、偶数

背面のスイッチは下記のように設定してください。

- 1:N手順(OFF)
- システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端 抵抗接続無し(OFF)]にしてください。

C120-LK202-V1 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容	
SW1	OFF		
SW2	OFF		
SW3	OFF	号機 No.:0	
SW4	OFF		
SW5	OFF		
SW6	OFF		
SW7	OFF	~ "使用	
SW8	ON	運転	

ディップスイッチ 2	設定	設定内容				
SW1	OFF					
SW2	OFF	/_`***末 <b>庄</b> - 10 07/				
SW3	ON	运达速度:19.2Kbps				
SW4	OFF					
SW5	OFF	未使用				
SW6	OFF	1:N手順				
SW7	ON					
SW8	ON					

• システム構成上、通信接続の末端に位置する場合

ディップスイッチ 3	設定	設定内容				
SW1	ON					
SW2	OFF					
SW3	ON	20世代され つけ 7				
SW4	OFF	絵価抵抗をつける				
SW5	ON					
SW6	OFF					
SW7	OFF	未使用				
SW8	OFF					

それ以外の場合

ディップスイッチ 3	設定	設定内容				
SW1	ON					
SW2	OFF					
SW3	OFF					
SW4	OFF	- 終端批抗をつけない 				
SW5	OFF					
SW6	OFF					
SW7	OFF	- 未使用				
SW8	OFF					

# 3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>続機器変更</u>
1

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>・ ロック</li> <li>・ ロック</li> </ul>
シリーズを変更 再確認してくた	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0
動作モード 運転モードの場る	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

## 接続機器の設定

ラダーツールで設定する場合

上位リンクポートの設定は、ラダーツールの [PC システム設定]を開き、[上位リンクポート]にて設定します。ラダーツールの詳細は接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値		
通信設定	ユーザー設定		
通信速度	19200		
パラメータ	7、2、E		
モード	上位リンク		
号機 No.	0 号機		
ディレー	0		
CS 制御	あり		

データレジスタに値を設定する場合

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容			
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク			
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ			
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機			

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>変更</u>

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C リンク</li> <li>C OV リンク</li> </ul>
シリーズを変 再確認して	更した場合は、すでに使用されているアドレスを だざい。
号機 No.	0
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

## 接続機器の設定

ラダーツールで設定する場合

ペリフェラルポートの設定は、ラダーツールの [PC システム設定]を開き、[ペリフェラルポート] に て設定します。ラダーツールの詳細は接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
通信設定	ユーザー設定
通信速度	19200
パラメータ	7、2、E
モード	上位リンク
号機 No.	0 号機
ディレー	0
CS 制御	あり

データレジスタに値を設定する場合

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容			
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク			
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ			
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機			

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

# 3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

【接続機器1						
概要						接続機器変更
メーカー	オムロン(株)		シリーズ <mark>C/CV</mark>	シリーズ 上位リン	ゆ	ポート COM1
文字列	データモード 🗍 3					
通信設定						
通信方	• 元	RS232C C	RS422/485位線式	) O RS422/	485(4線式)	
通信速	度 1	9200	•			
データ長	į e	7 0	8			
パリティ	C	なし 💿	偶数	○ 奇数		
ストップロ	čyh O	1 0	2			
フロー制	御 0	なし 💿	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF		
タイムア	לי אל	(sec)				
リトライ	2					
送信ウ	11 D	(ms)				
RI / V		RI O	VCC			
RS23	20の場合、9番ビ	ンをRI(入力)にする	かVCC(5V電源供給	<u>})</u>		
にする	加を選択しきます 用する場合は、\	。テンダル製RS232 /CCを選択してくださ	:07197-99977 :(0.		初期設定	

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>○ 0 リンク</li> <li>○ 0 V リンク</li> </ul>
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機 No.	0 🕂
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(()) キャンセル

## 接続機器の設定

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

C500-LK201-V1

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	ON	伝达速度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	
SW8	ON	レヘル1,2,3 有効

モード制御スイッチ (ユニット前面): 上位リンク 入出力ポート (ユニット背面): RS-232C 同期 (ユニット背面): 内部 終端抵抗 (ユニット背面): 無 CTS (ユニット背面): 0V C500-LK203 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	つい 目 うつしゅ プレット 個数
SW7	OFF	/bit 長、2 ストツノヒツト、
SW8	OFF	通常
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
ディップスイッチ2 SW1	設定 OFF	設定内容
ディップスイッチ 2 SW1 SW2	設定 OFF OFF	設定内容
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3	設定 OFF OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4	設定 OFF OFF ON OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5	設定 OFF OFF ON OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 系統 #0
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6	設定 OFF OFF ON OFF ON OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 系統 #0 1:N 手順
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6 SW7	設定 OFF OFF ON OFF ON OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 系統 #0 1:N手順

モード制御スイッチ(ユニット前面):上位リンク
5V 供給(ユニット背面):OFF
入出力ポート(ユニット背面):RS-232C
同期(ユニット背面):内部
終端抵抗(ユニット背面):無
CTS(ユニット背面):0V

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概	<b>要</b>			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	1	シリーズ 〇〇〇〇 シリーズ 上位リンク ポー	- F COM1
	文字列データモード	3 変更		
通	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
	通信速度	19200	<b>•</b>	
	データ長	• 7	C 8	
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数	
	ストップビット	0.1	€ 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 (	(sec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🔆 (	ims)	
	RI / VCC RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合(2	© RI 番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R に、VCCを選択して	● VCC するかVCC(5V電源供給) \$2320アイソレーションユニッ ください。 初期設定	

## 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>© 0 リンク</li> <li>© 0 V リンク</li> </ul>
シリーズを変活 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを だざい。
号機No.	0 😐
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

## 接続機器の設定

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

C500-LK201-V1

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No. : 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	(二)*)主座,10 000
SW3	ON	运送速度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	
		$ $

モード制御スイッチ (ユニット前面): 上位リンク

ON

入出力ポート (ユニット背面): RS-422

同期(ユニット背面):内部

SW8

終端抵抗(ユニット背面):システム構成上、通信接続の末端に位置する場合は[有]、それ以外は[ 無]に設定してください。

CTS (ユニット背面): 0V

C500-LK203 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	つい 目 うつしゅ プレット 個数
SW7	OFF	/bit 長、2 ストツノロット、 商奴
SW8	OFF	通常
ディップスイッチ2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	(二)**末座 - 10,01/1
SW3	ON	运达迷度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	ON	系統 #0
SW6	OFF	1:N手順

モード制御スイッチ (ユニット前面):上位リンク

ON

ON

5V供給 (ユニット背面): OFF

SW7

SW8

入出力ポート (ユニット背面): RS-422

同期 (ユニット背面): 内部

終端抵抗(ユニット背面):システム構成上、通信接続の末端に位置する場合は[有]、それ以外は[ 無]に設定してください。

レベル1,2,3有効

CTS (ユニット背面): 0V

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	(機器1)				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0)	V シリーズ 上位リンク	ポート COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式)	代) C RS422/485(4線式)	
	通信速度	9600	•		
	データ長	• 7	O 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	O 1	● 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	O XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>÷</u> (₀	ec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	р <u>т</u> (г	ns)		
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを避けでき	まピンをRI(入力)に ます。デジカル制PS	するかVCC(5V電源供約	檜)	
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。		

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
ー シリーズ シリーズを変	● C リンク ● CV リンク 更した場合は、すでに使用されているアドレスを
再確認して	(ださい。
号機No.	0 🗮
動作モード 運転モードの場	マ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK( <u>O</u> ) キャンセル

# 接続機器の設定

通信は標準設定(初期値)で行ってください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
伝送速度	9600bps
スタートビット	1ビット
データ長	7ビット
ストップビット	2ビット
パリティビット	偶数
号機 No.	0 号機

# 3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>続機器変更</u>
1

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C U20</li> <li>C CV U20</li> </ul>
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((()) キャンセル

## 接続機器の設定

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 CPM1,CPM1Hと接続する場合は、SW5はOFFに設定してください。 CPM2Cと接続する場合は、「通信ポート機能スイッチの設定」のSW1はOFF、SW2はONに設定してくだ さい。設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容	
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク	
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ	
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機	

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

# 3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/01	V シリーズ 上位リンク	ポート COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線)	代) C RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	• 7	C 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	01	• 2		
	フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🔆 (s	sec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	0 📑 (r	ms)		
Γ	RI / VCC	• RI	O VCC		
	RS232Cの場合、9者 にするかを避けでき	番ピンをRI(入力)に ます。デジカル制PS	するかVCC(5V電源供)	給)	
	トを使用する場合は	L, VCCを選択して	えるこの パークレーションユ ください。	初期設定	1
L					1

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C (リンク)</li> <li>C (CV リンク)</li> </ul>
シリーズを変更 再確認してくだ	した場合は、すでに使用されているアドレスを さい。
号機No.	0
動作モード 運転モードの場合	▼ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(0) キャンセル
ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW 5はOFFに設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

## 3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0\	/ シリーズ 上位リンク	ポート COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式	t) 〇 RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	⊙ 7	08		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	01	● 2		
	フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	0 🔅 (n	ns)		
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを避けでき	ませンをRI(入力)に ます。デジカル制PS	するかVCCにV電源供給 2920アイトルージョンコ	iê)	
	トを使用する場合は	、VCCを選択してく	ださい。	> 初期設定	
-					

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>© 0 リンク</li> <li>© 0 V リンク</li> </ul>
シリーズを変活 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを だざい。
号機No.	0 😐
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 変換アダプタ上のモード設定 SW は必ず [HOST] に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

\*変換アダプタはCPU上のペリフェラルポートに接続します。

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	I	シリーズ JC/CV シリーズ 上位リンク	ポート  COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	<u>U</u>
	通信速度	19200	T	
	データ長	7     7	○ 8	
	パリティ	○ なし	<ul> <li>・ 偶数</li> <li>C 奇数</li> </ul>	
	ストップビット	O 1	• 2	
	フロー制御	○ なし	● ER(DTR/CTS)	
	タイムアウト	β 📑 (s	ec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🚊 (r	ns)	
	RI / VCC RS232Cの場合。99	◎ RI 郵ビンをRI(入力)に	C VCC するかVCCGV運運供給)	
	にするかを選択でき トを使用する場合に	ます。デジダル製RS t、VCCを選択して	2320アイソレージョンユニッ ださい。	定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを (ださい。
号機 No.	0 =
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 変換アダプタ上のモード設定 SW は必ず [HOST] に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

\*変換アダプタはCPU上のペリフェラルポートに接続します。

## 3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>器変更</u>

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● C リンク ● CV リンク ■した場合は、オでに使用されているスペレスを
	2012/36 14 ( 9 C ( ) C (
号機 No.	0
動作モード 運転モードの場合	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((0) キャンセル

CPM2C-CIF01上のペリフェラルポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

### ユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

\*変換アダプタはCPU上のペリフェラルポートに接続します。

## 3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>続機器変更</u>
1

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>○ 0 リンク</li> <li>○ 0 V リンク</li> </ul>
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機 No.	0 🕂
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(()) キャンセル

CPM2C-CIF01 上の RS232C ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容		
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク		
DM6646	0304(HEX) 19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリテ			
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機		

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

### ユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

\*変換アダプタはCPU上のペリフェラルポートに接続します。

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	應器11					
概要	Ē					接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0)	/ シリーズ 上位リンク	:	ポート COM1
	文字列データモード	3 変更				
通信	設定					
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式	t) 🔿 RS422/48	5(4線式)	
	通信速度	19200	-			
	データ長	7	O 8			
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数		
	ストップビット	0.1	● 2			
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF		
	タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)			
	リトライ	2 🗄				
	送信ウェイト	0 🗄 (n	ns)			
Γ	RI / VCC	• RI				
	RS232Cの場合、9番	まピンをRI(入力)に	するかVCCはV電源供給	)		
	にするがを選択できる	rg。テンダル製RS 、VCCを選択してく	2320アイジレージョンユ ださい。	_"	加期設定	

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C U20</li> <li>C CV U20</li> </ul>
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((()) キャンセル

CPM2C-CIF11 上の RS232C ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容		
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク		
DM6646	0304(HEX)	IEX) 19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ		
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機		

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概	<b>要</b>			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	1	シリーズ 〇〇〇〇 シリーズ 上位リンク ポー	- F COM1
	文字列データモード	3 変更		
通	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
	通信速度	19200	<b>•</b>	
	データ長	• 7	C 8	
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数	
	ストップビット	01	€ 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 6	(sec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🔆 (	ims)	
	RI / VCC RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合(2	© RI 番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R に、VCCを選択して	● VCC するかVCC(5V電源供給) \$2320アイソレーションユニッ ください。 初期設定	

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>© 0 リンク</li> <li>© 0 V リンク</li> </ul>
シリーズを変活 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを だざい。
号機No.	0 😐
動作モード 運転モードの場	▼ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

CPM2C-CIF11 上の RS232C ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容		
DM6645	0001(HEX)	モード指定 : 上位リンク		
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ		
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機		

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端抵 抗接続無し(OFF)]にしてください。

RS-485 インターフェース切り替えスイッチ

ディップスイッチ 2	設定	設定内容		
SW1	OFF	- 4 線式通信 - CPU ユニットの RS 制御機能		
SW2	OFF			
SW3	OFF			
SW4	ON			

## 3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
Ē				接続機器変更
メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0)	/ シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード	3 <u>変更</u>			
設定				
通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2線式	) ○ RS422/485(4線	(元)
通信速度	19200	•		
データ長	⊙ 7	C 8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	01	€ 2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	○ XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	0 🔅 (n	ns)		
RI / VCC	• RI	O VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	まピンをRI(入力)に ます。デジタル制RS	するかVCCはV電源供給 232Cアイソルーションコ	ê)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	ださい。		設定
	<ul> <li>         (オムロン(株)     </li> <li>         メーカー オムロン(株)     </li> <li>         文字列データモード     </li> <li>         (なっていたい)     </li> <li>         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         ブータ長         パリティ         ストップビット         フロー制御         タイムアウト         リトライ         ジ信ウェイト         RI / VCC         RS232Cの場合、9番         にするかを選択できまた         トを使用する場合は         (こするかを選択できまた)         とのしていたい)     </li> </ul>	職器1 メーカー オムロン(株) 文字列データモード 3 変更 譲定 通信方式 © RS232C 通信速度 19200 データ長 © 7 パリティ © なし ストップビット © 1 フロー制御 © なし タイムアウト 3	服器1 メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV 文字列データモード 3 変更 認定 通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485位線式 通信速度 19200 マ データ長 ○ 7 ○ 8 パリティ ○ なし ○ 偶数 ストップビット ○ 1 ○ 2 フロー制御 ○ なし ○ ER(DTR/CTS) タイムアウト 3 壬 (sec) リトライ 2 壬 送信ウェイト □ 壬 (ms) RI / VCC ○ RI ○ VCC RS232Cの場合、9番ピンをRI(へ力)にするか VCC(5V電源供給 (こするかを選択できます。デジタル製RS232C アイソレーションユ) トを使用する場合は、VCCを選択してだだい。	服若1 メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク 文字列データモード 3 変更 認定 通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線 通信速度 19200 ▼ データ長 ○ 7 ○ 8 パリティ ○ なし ○ 偶数 ○ 奇数 ストップビット ○ 1 ○ 2 フロー制御 ○ なし ○ 居(DTR/CTS) ○ XON/XOFF タイムアウト 3 (sec) リトライ 2

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
ー シリーズ シリーズを変	● C リンク ● CV リンク 更した場合は、すでに使用されているアドレスを
再確認して	(ださい。
号機No.	0 🗮
動作モード 運転モードの場	マ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK( <u>O</u> ) キャンセル

CQM1H - SCB41B 上の RS232C を使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)         上位リンク、号機 No.:0号機	

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

ユニット表面のスイッチ設定

スイッチ	設定
TERM	OFF
FIRE	任意

3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	I	シリーズ JC/CV シリーズ 上位リンク	ポート  COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	<u>U</u>
	通信速度	19200	T	
	データ長	7     7	○ 8	
	パリティ	○ なし	<ul> <li>・ 偶数</li> <li>C 奇数</li> </ul>	
	ストップビット	O 1	• 2	
	フロー制御	○ なし	● ER(DTR/CTS)	
	タイムアウト	β 📑 (s	ec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🚊 (r	ns)	
	RI / VCC RS232Cの場合。99	◎ RI 郵ビンをRI(入力)に	C VCC するかVCCGV運運供給)	
	にするかを選択でき トを使用する場合に	ます。デジダル製RS t、VCCを選択して	2320アイソレージョンユニッ ださい。	定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
ー シリーズ シリーズを変	● C リンク ● CV リンク 更した場合は、すでに使用されているアドレスを
再確認して	(ださい。
号機No.	0 🗮
動作モード 運転モードの場	マ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK( <u>O</u> ) キャンセル

CQM1H - SCB41B 上の RS422/485 ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6550	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6551	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6553	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

ユニット表面のスイッチ設定

スイッチ	設定
TERM	ON
FIRE	4

システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端抵 抗接続無し(OFF)]にしてください。

## 3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機	器1				
概要					接続機器変更
k	トーカー オムロン(株)		シリーズ (ロノロン	(シリーズ 上位リンク	ポート COM1
×	と字列データモード 「	3 <u>変更</u>			
通信部	安定				
ì	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式	) 🔿 RS422/485(4	線式)
i	通信速度	19200	•		
デ	°──タ長	• 7	O 8		
19	(リティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ス	いトップ ビット	01	€ 2		
7	四一制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	○ XON/XOFF	
タ	ዛሬምዕኑ	β <u>÷</u> (₀	ec)		
y J	ŀ∋1	2 🔅			
迫	送信ウェイト	0 🚊 (m	ns)		
R		• RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)にな	するかVCCにV電源供給	<u>會)</u>	
	トを使用する場合は、	、VCCを選択してく	ださい。	 衤刀非	· 調設定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C U20</li> <li>C CV U20</li> </ul>
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((()) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

## 3.19 設定例 19

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1					
概要	Ē					接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0)	/ シリーズ 上位リン	<u>ク</u>	ポート COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>				
通信	設定					
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式)	t) C RS422/4	485(4線式)	
	通信速度	19200	•			
	データ長	⊙ 7	O 8			
	パリティ	○ なし	④ 偶数	○ 奇数		
	ストップビット	01	● 2			
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	O XON/XOFF		
	タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)			
	リトライ	2 🔅				
	送信ウェイト	0 🔅 (r	ns)			
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC			
	RS232Cの場合、9番 にまるかも避けのき	ませンをRI(入力)に ます。 デジカル 制用S	するかVCC(5V電源供給	檜)		
	にするがを進択てきる	、VCCを選択して	えることが クレーションユ ください。	_9	初期設定	

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C (リンク)</li> <li>C (CV リンク)</li> </ul>
シリーズを変更 再確認してくだ	した場合は、すでに使用されているアドレスを さい。
号機No.	0
動作モード 運転モードの場合	▼ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(0) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

### ポート A 使用時

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

### ポート B 使用時

レジスタ	設定	設定内容	
DM6550	0001(HEX)	モード指定:上位リンク	
DM6551	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ	
DM6553	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機	

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.20 設定例 20

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概	<b>要</b>			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	1	シリーズ 〇〇〇〇 シリーズ 上位リンク ポー	- F COM1
	文字列データモード	3 変更		
通	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	<b>•</b>	
	データ長	• 7	C 8	
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数	
	ストップビット	0.1	€ 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 6	(sec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🔆 (	ims)	
	RI / VCC RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合(2	© RI 番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R に、VCCを選択して	● VCC するかVCC(5V電源供給) \$2320アイソレーションユニッ ください。 初期設定	

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを (ださい。
号機 No.	0 =
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容		
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク		
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ		
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機		

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

コミュニケーションボードのディップスイッチを下記のように設定してください。

- SW1 : ON
- SW2:システム構成上通信接続の末端に位置する場合は、「終端抵抗有り(ON)」、それ以外は、「終端抵抗無し(OFF)」にしてください。

3.21 設定例 21

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/01	/ シリーズ 上位リンク	ポート СОМ1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式)	) 🔿 RS422/485(4#	泉式)
	通信速度	19200	•		
	データ長	7     7	C 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	0.1	2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	○ XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>:</u> (s	ec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	р 🚊 (н	ns)		
Γ	RI / VCC	⊙ RI	O VCC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを避けでき	まピンをRI(入力)に ます。デジカル制PS	するかVCCにV電源供給 2920アイトルージョンコ	合) 	
	トを使用する場合は	、VCCを選択してく	ださい。	 初期	設定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ c リンク ● cV リンク
シリースを変更 再確認してくた	見した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((0) キャンセル

ポート1(RS232C)を使用する場合

ロータリースイッチ 1	設定	設定内容	
SW3	0	- 号機 NO:0	
SW4	0		

1 SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	Т	供給しない

設定		設定内容
終端抵抗 SW	下	終端抵抗:無

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ <sup>1</sup>		
SW2	ON	ポート 1 : CTS 信号を常時 ON		
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON		
SW4	OFF	予備:常時 OFF		
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います		
SW6	OFF	未使用		

1 ラダーソフト等で伝送速度を 19200 に変更してください。

## 3.22 設定例 22

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0\	/ シリーズ 上位リンク	ポート СОМ1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式)	) 🔿 RS422/485(4#	泉式)
	通信速度	19200	•		
	データ長	7     7	C 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	0.1	2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	○ XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>:</u> (s	ec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	р 🚊 (н	ns)		
Γ	RI / VCC	⊙ RI	O VCC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを避けでき	まピンをRI(入力)に ます。デジカル制PS	するかVCCにV電源供給 2920アイトルージョンコ	合) 	
	トを使用する場合は	、VCCを選択してく	ださい。	 初期	設定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ c リンク ● cV リンク
シリースを変更 再確認してくた	見した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((0) キャンセル

ポート2(RS232C)を使用する場合

ロータリースイッチ 1	設定	設定内容
SW3	0	
SW4	0	亏機 NO 10

1 SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	Т	供給しない

	設定	設定内容
通信路切替 SW	거	RS232C

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	不	終端抵抗:無

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ <sup>1</sup>
SW2	ON	ポート 1 : CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2:CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

1 ラダーソフト等で伝送速度を 19200 に変更してください。

3.23 設定例 23

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	I	シリーズ JC/CV シリーズ 上位リンク	ポート  COM1
	文字列データモード	3 <u>変更</u>		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	<u>U</u>
	通信速度	19200	T	
	データ長	7     7	○ 8	
	パリティ	○ なし	<ul> <li>・ 偶数</li> <li>C 奇数</li> </ul>	
	ストップビット	O 1	• 2	
	フロー制御	○ なし	● ER(DTR/CTS)	
	タイムアウト	β 📑 (s	ec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🚊 (r	ns)	
	RI / VCC RS232Cの場合。99	◎ RI 郵ビンをRI(入力)に	C VCC するかVCCGV運運供給)	
	にするかを選択でき トを使用する場合に	ます。デジダル製RS t、VCCを選択して	2320アイソレージョンユニッ ださい。	定

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更 西端羽レスイ	○ C リンク ○ CV リンク ■した場合は、すでに使用されているアドレスを
再確認してA 号機No.	
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 含、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ポート2(RS422)を使用する場合

ロータリースイッチ 1	設定	設定内容
SW3	0	
SW4	0	亏機 NO:0

1 SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
通信路切替 SW	上	RS422

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	Ч	終端抵抗:有 1

1 終端抵抗切り替えスイッチはシステムの終端に位置するユニットだけONにして下さい。

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ <sup>1</sup>
SW2	ON	ポート 1 : CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

1 ラダーソフト等で伝送速度を 19200 に変更してください。

3.24 設定例 24

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
Ē				接続機器変更
メーカー オムロン(株)		シリーズ (0/0)	/ シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード	3 <u>変更</u>			
設定				
通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2線式	) ○ RS422/485(4線	(元)
通信速度	19200	•		
データ長	⊙ 7	C 8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	01	€ 2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	○ XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	0 🔅 (n	ns)		
RI / VCC	• RI	O VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	まピンをRI(入力)に ます。デジタル制RS	するかVCCはV電源供給 232Cアイソルーションコ	ê)	
ドを使用する場合は	、VCCを選択して	ださい。		設定
	<ul> <li>         (オムロン(株)     </li> <li>         メーカー オムロン(株)     </li> <li>         文字列データモード     </li> <li>         (なっていたい)     </li> <li>         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         通信方式         ブータ長         パリティ         ストップビット         フロー制御         タイムアウト         リトライ         ジ信ウェイト         RI / VCC         RS232Cの場合、9番         にするかを選択できまた         トを使用する場合は         (こするかをご知られる)     </li> </ul>	職器1 メーカー オムロン(株) 文字列データモード 3 変更 譲定 通信方式 © RS232C 通信速度 19200 データ長 © 7 パリティ © なし ストップビット © 1 フロー制御 © なし タイムアウト 3	服器1 メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV 文字列データモード 3 変更 認定 通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485位線式 通信速度 19200 マ データ長 ○ 7 ○ 8 パリティ ○ なし ○ 偶数 ストップビット ○ 1 ○ 2 フロー制御 ○ なし ○ ER(DTR/CTS) タイムアウト 3 壬 (sec) リトライ 2 壬 送信ウェイト □ 壬 (ms) RI / VCC ○ RI ○ VCC RS232Cの場合、9番ピンをRI(へ力)にするかVCC(5V電源供給 (こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユ) トを使用する場合は、VCCを選択してだだい。	服若1 メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク 文字列データモード 3 変更 認定 通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線 通信速度 19200 ▼ データ長 ○ 7 ○ 8 パリティ ○ なし ○ 偶数 ○ 奇数 ストップビット ○ 1 ○ 2 フロー制御 ○ なし ○ 居(DTR/CTS) ○ XON/XOFF タイムアウト 3 (sec) リトライ 2

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ c リンク ● cV リンク
シリースを変更 再確認してくた	見した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((0) キャンセル

RS232C ポートと接続する場合

	設定	設定内容
通信設定切り替え SW	Ч	RS232C の通信方式

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW4	OFF	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ、号 機 No. : 0
SW6	OFF	終端抵抗:無

1 その他のディップ SW の設定は GP との通信には必要ありません。

3.25 設定例 25

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概	<b>要</b>			接続機器変更
	メーカー オムロン(株)	1	シリーズ 〇〇〇〇 シリーズ 上位リンク ポー	- F COM1
	文字列データモード	3 変更		
通	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
	通信速度	19200	<b>•</b>	
	データ長	• 7	C 8	
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数	
	ストップビット	0.1	€ 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 (	(sec)	
	リトライ	2 🔅		
	送信ウェイト	p 🔆 (	ims)	
	RI / VCC RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合(2	© RI 番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R に、VCCを選択して	● VCC するかVCC(5V電源供給) \$2320アイソレーションユニッ ください。 初期設定	

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>C C リンク</li> <li>C C リンク</li> </ul>
シリーズを変更 再確認してくだ	した場合は、すでに使用されているアドレスを さい。
号機No.	0 🔅
動作モード 運転モードの場合	▼ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

RS422 ポートと接続する場合

	設定	設定内容
通信設定切り替え SW	イ	RS422 の通信方式

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW4	OFF	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ、号 機 No.:0
SW6	ON	終端抵抗:有 <sup>2</sup>

1 その他のディップ SW の設定は GP との通信には必要ありません。

2 終端抵抗切り替えスイッチはシステムの終端に位置するユニットだけONにして下さい。

# 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

### 4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

[接続機器1]		
概要		接続機器変更
メーカー オムロン(株)		シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク ポート COM1
文字列データモード 3	変更	
通信設定		
通信方式	RS232C C	RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)
通信速度	19200	<b>•</b>
データ長	7 0	8
パリティ (	なし 🔍	偶数 C 奇数
ストップビット 🤇	1 💿	2
フロー制御 (	なし 🔍	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	(sec)	
リトライ 🛛		
送信ウェイト 🖡	(ms)	
RI / VCC	RIO	VCC
RS232Cの場合、9番と にまるかも避けのできます	シをRI(入力)にする; たっぷりかい 新RS200	かVCC(5V電源供給)
トを使用する場合は、	。リングル製に3232 VCCを選択してくださ	い。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	1	
No. 機器名	_	設定 

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0 ~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の m([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から Merion をクリックすることで、設定できる接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	<ul> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
シリーズを変〕 再確認して〈?	更した場合は、すでに使用されているアドレスを どざい。
号機No.	0 芸
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((2) キャンセル

設定項目	設定内容
シリーズ名	接続する接続機器のモデルを選択します。
号機 No.	接続機器の号機番号を設定します。
動作モード	モニタモードへの変更の有効/無効を設定します。

• 接続機器が運転モードの場合、表示器からの書込みを受付けません。「動作モード」 重要 を有効にすると、起動時に接続機器をモニタモードへと変更し、書き込みできるよ うにします。

### 4.2 オフラインでの設定項目

MEMO ・ オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

参照: 保守 / トラブル解決ガイド「2.2 オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

### 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[通信設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
C/CV シリーズ _	L位リンク		[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS232C 19200 ● 7 ● たよし ● 1 ■ ER(DTR/C	● 個数 ● 2 TS)	] 奇数 ]
	タイムアウト(s) リトライ 送信ウェイト(ms)			
	終了		戻る	2005/09/02 12:43:51

設定項目	設定内容		
	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重 要		
通信方式	通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアル を参照してください。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を選択します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		

次のページに続きます。
設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
0/00 シリーズ 」	上位リンク		[COM1]	Page 1/1
接続權	器名 PLC	01		<b>_</b>
	シリーズ	C リンク		
	号機 No.		0 💌 🔺	
	モニタモード	○ 無効	● 有効	
				0005 (00 (00
	終了		戻る	2005/09/02 12:43:53

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ名	接続する接続機器のモデルを選択します。
号機 No.	接続機器の号機番号を設定します。
強制モニタモード	モニタモードへの変更の有効 / 無効を設定します。

## オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
C/CV シリーズ	上 位リンク	J2: A	[COM1]	Page 1/1
	RI / VCC RS232Cの場合 かVCC(5V電) す。デジタノ ユニットを介 てください。	● RI う、9番ピンをRI( 原供給)にするかを レ製RS2320アイソI 東用する場合は、V	000 (力)にする 選択できま ノーション 000を選択し	
Q	終了		戻る	2005/09/02 12:43:55

設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
мемо • С	iP-4100 シリーズの場合、オフラインモードに [ オプション ] の設定はありません。

以下に示す結線図とオムロン(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器	ケーブル		備考
GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 )	1A	(株)デジタル製 RS232C ケーブル CA3-CBL232/5M-01	
PC/AT	1B	自作ケーブル	ケーブル長 :15m
GP-4105 ( COM1 )	1C	自作ケーブル	以内

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「アロック COM ポートについて (13 ページ) 1A)



1B)

D-:	表 sub 9 b	示器側 ピン(ソケッ	۲) D	接約 -sub 25	売機器側 ラピン(プラ	グ)
	ピン	信号名		ピン	信号名	
表示器	3	SD(TXD)		2	SD(TXD)	
	2	RD(RXD)		3	RD(RXD)	
	8	CS(CTS)		4	RS(RTS)	
	5	SG		5	CS(CTS)	
	1	CD		7	SG	
	4	ER(DTR)		20	ER(DTR)	
	7	RS(RTS)	V.	1	FG	

1C)



表示器		ケーブル	備考
GP3000 <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) ST <sup>2</sup> ( COM2 ) IPC <sup>3</sup>	2A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	2B	自作ケーブル	
GP3000 <sup>4</sup> ( COM2 )	2C	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
	2D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	2E	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

#### 2A)

٠

1:1 接続の場合

1:n 接続の場合



接続機器側 接続機器側 端子台 D-sub 9ピン(プラグ) D-sub 9ピン(プラグ) シールド シールド 終端抵抗 信号名 ピン 信号名 ピン 信号名 220Ω1/4W RDA 5 5 SDB SDB ≷ RDB 9 9 SDA SDA CA3-ADPCOM-01 表示器 SDA 1 RDB 1 RDB ş []] SDB 6 RDA 6 RDA 終端抵抗 TERM 3 SG 3 SG CA3-ADPTRM-01 22001/4W SG 7 FG 7 FG 自作ケーブル ・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 MEMO を挿入してください。

GP-Pro EX 機器接続マニュアル

#### 2B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



## 2C )

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



GP-Pro EX 機器接続マニュアル

## 2D )

1:1 接続の場合



自作ケーブル

• 1:n 接続の場合



2E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

表示器	ケーブル		備考
GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 )	3A	(株)デジタル製オムロン SYSMAC リンクケーブル CA3-CBLSYS-01	
PC/AT	3B	自作ケーブル	<b>ケーブル</b> 長は 15m 以
GP-4105 ( COM1 )	3C	自作ケーブル	内にしてください。

RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 IPC の COM ポートについて (13 ページ)

3A)



3B)



3C)



表示器		ケーブル	備考
GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	4A	オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01	市販の9ピン -25ピン 変換アダプタが必要で す。
GP-4105 ( COM1 )	4B	自作ケーブル + オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01	

4A)



4B)



表示器		ケーブル	備考
GP3000 <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) ST <sup>2</sup> ( COM2 ) IPC <sup>3</sup>	5A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li></ul>	
	5B	自作ケーブル	
GP3000 <sup>4</sup> ( COM2 )	5C	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
	5D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	5E	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

5A)

٠

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



を挿入してください。

#### 5B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



**MEMO**• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

#### 5C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



5D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

5E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

表示器	ケーブル		備考
GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	6A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 ( COM1 )	6B	自作ケーブル	

6A)



6B)



表示器	ケーブル		備考
GP3000 <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) ST <sup>2</sup> ( COM2 ) IPC <sup>3</sup>		<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
irc	7B	(株) デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	
7C		自作ケーブル	
GP3000 <sup>4</sup> ( COM2 )	7D	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてください。
	7E	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	7F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

7A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



 
 MEMO
 ・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6を ON にして終端抵抗 を挿入してください。
 7B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

7C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



**MEMO**• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

#### 7D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



7E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



7F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

表示器	ケーブル		備考
8A GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 )		自作ケーブル + オムロン (株) 製 CS1W-CN225(2m) または CS1W-CN625(6m)	
IPC <sup>1</sup> PC/AT	8B	自作ケーブル + オムロン (株) 製 CS1W-CN226(2m) または CS1W-CN626(6m)	ケーブル長は 15m 以
	8C	自作ケーブル + オムロン (株) 製 CS1W-CN225(2m) または CS1W-CN625(6m)	内にしてください。
GP-4105 (COM1) -	8D	自作ケーブル + オムロン (株) 製 CS1W-CN226(2m) または CS1W-CN626(6m)	

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (13 ページ)

8A)



8B)



8C)



8D)

表示器

4

表示器側 端子台     [	)-sub 9	ピン(プラク	グ)	
信号名	ピン	信号名	CS1W-CN226	
RD(RXD)	2	RD(RXD)	または CS1W-CN626	接続機哭
SD(TXD)	3	SD(TXD)		
RS(RTS)	7	CS(CTS)		
CS(CTS)	8	RS(RTS)		
SG	5	SG		

自作ケーブル

表示器	ケーブル		備考
GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	9A	オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01 + オムロン (株) 製コネクタ変換ケーブル CS1W-CN114	市販の9ピン -25 ピン変 換アダプタが必要です。
GP-4105(COM1)	9B	自作ケーブル + オムロン(株)製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01 + オムロン(株)製コネクタ変換ケーブル CS1W-CN114	

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「PC の COM ポートについて (13 ページ)

9A)



9B)



表示器	ケーブル		備考
GP3000 <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) ST <sup>2</sup> ( COM2 ) IPC <sup>3</sup>	10A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	10B	(株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	
10C 自作ケーブル		自作ケーブル	ケ_ブリ. 트は 500m
GP3000 <sup>4</sup> ( COM2 )	10D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	リーフル 表は 300m 以内にしてくださ い。
	10E	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	10F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『 IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

▲ 注意
・ 接続機器を接続する場合、オムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 あるいは 端子台を使用してください。 10A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



を挿入してください。

10B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



10C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



を挿入してください。

10D)

1:1 接続の場合







10E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



10F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容		
1	OFF		
2	ON		
3	OFF		
4	ON		
表示器	ケーブル		備考
--	------	---	-------------------------------
GP3000 <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) ST <sup>2</sup> ( COM2 ) IPC <sup>3</sup>	11A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	11B	(株) デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	
	11C	自作ケーブル	ケーブル.長け 500m
GP3000 <sup>4</sup> ( COM2 )	11D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	リーフルRa 300m 以内にしてくださ い。
	11E	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	11F	自作ケーブル	

<sup>1</sup> AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \* 接続機器を接続する場合、オムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 あるいは端子台を使用 してください。

11A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6を ON にして終端抵抗 を挿入してください。 11B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

### 11C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



を挿入してください。

11D)

1:1 接続の場合





11E)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

#### 11F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

表示器		ケーブル	備考
GP3000 ( COM1 ) ST ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	12A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 ( COM1 )	12B	自作ケーブル	

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>③</sup> IPC の COM ポートについて (13 ページ)

12A)



12B)



表示器		ケーブル	備考	
GP3000 <sup>1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	13A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>		
	13B	自作ケーブル		
GP3000 <sup>4</sup> ( COM2 )	13C	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。	
	13D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 ( COM1 )	13E	自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

13A)

1:1 接続の場合



自作ケーブル



13B)

1:1 接続の場合





### 13C)

1:1 接続の場合



自作ケーブル



13D)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

 1:n 接続の場合 D-sub 9ピン(プラグ) 接続機器側 接続機器側 D-sub 9ピン(プラグ) D-sub 9ピン(プラグ) ピン 信号名 シールド シールド ピン ピン 信号名 信号名 TERMRX 1 2 2 2 RDA SDB SDB 表示器 1 1 RDB SDA SDA 7 Π.Π 3 8 RDB 8 RDB SDA 6 RDA 6 RDA SDB 8 CA4-ADPONL-01 9 RS RS TERMTX 4 4 5 SG 5 CS 5 CS SG SG 9 9 コネクタフード コネクタフード V

自作ケーブル

13E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP3000 <sup>1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	14A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>		
	14B	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル		
	14C	自作ケーブル		
GP3000 <sup>4</sup> (COM2)	14D	<ul> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内	
	14E	<ul> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>(株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01</li> <li>自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ</li> </ul>		
	14F	CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 ( COM1 )	14G	自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>CGP</sup> IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種



14B)





14D)





14F)





\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP3000 <sup>1</sup> (COM1)	15A	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル		
AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	15B	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル		
	15C	自作ケーブル		
GP3000 <sup>4</sup> (COM2)	15D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内	
	15E	<ul> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ</li> </ul>		
	15F	CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 ( COM1 )	15G	自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>CGP</sup> IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種



15B)





15D)





15F)



15G)



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考	
GP3000 <sup>1</sup> (COM1)	16A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>		
AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	16B	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル		
	16C	自作ケーブル		
GP3000 <sup>4</sup> (COM2)	16D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	<b>ケーブル</b> 長:500m 以内	
	16E	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル		
	16F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 ( COM1 )	16G	自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>CGP</sup> IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種



16B)



端子台 端子台 D-sub9ピン (ソケット) シールド (M3 ネジ) シールド (M3 ネジ) シールド 接続機器側 ピン 信号名 信号名 信号名 信号名 終端抵抗 1 RDA RDA RDA SDB 220Ω 1/4W 2 RDB RDB RDB SDA 終端抵抗 SDA 3 SDA SDA RDB 220Ω 1/4W 7 SDB SDB SDB RDA 5 SG SG SG SG 表示器 4 ERA FG FG FG 8 CSA 9 ERB 6 CSB D-sub9ピン (ソケット) シールド ピン 信号名 信号名 1 RDA RDA 2 RDB RDB 表示器 3 SDA SDA 7 SDB SDB 5 SG SG 1 4 ERA FG 8 CSA 9 ERB 6 CSB

16D)

16C)







16F)







\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考	
GP3000 <sup>1</sup> (COM1)	17A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>		
AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	17B	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル		
	17C	自作ケーブル		
GP3000 <sup>4</sup> (COM2)	17D	<ul> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内	
	17E	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル		
	17F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 ( COM1 )	17G	自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

МЕМО

 接続機器を接続する場合はオムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 または端 子台を使用してください。





MEMO

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。





MEMO

# 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。



MEMO	•	終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。
------	---	---------------------------------



MEMO

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

17E)



МЕМО

# • 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

17F)



MEMO

# 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。


• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

#### 結線図 18

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 <sup>1</sup> (COM1)	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>		
AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	18B	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル	
	18C 自作ケーブル		
GP3000 <sup>4</sup> (COM2)	18D	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
	18E	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル	
	18F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	18G 自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

MEMO

 接続機器を接続する場合はオムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 または端 子台を使用してください。





мемо

### 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

18C)



мемо	•	•	終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。
------	---	---	---------------------------------



МЕМО

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。



Γ	
I	MEMO

### 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。





MEMO

#### • 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。





• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

#### 結線図 19

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 <sup>1</sup> (COM1)	19A	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) IPC <sup>3</sup>	19B	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル	
	19C 自作ケーブル		
	19D	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
GP3000 <sup>4</sup> (COM2)	19E	<ul> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> </ul>	
	196	+ 自作ケーブル	
GP-4106 ( COM1 )	19G 自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『 IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種



19B)





19D)





19F)





\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

## 6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

6.1 SYSMAC-C シリーズ

: システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出力リレー				
内部補助リレー	000.00 - 511.15	000-511		1 3
特殊補助リレー				
アナログ設定値格納エリア	220.00 - 223.15	220 ~ 223		2 3
データリンクリレー	LR00.00 - LR63.15	LR00-LR63	<u>[L/H</u> ]	3
補助記憶リレー	AR00.00 - AR27.15	AR00-AR27		3
保持リレー	HR00.00 - HR99.15	HR00-HR99		3
タイマ(接点)	TIM000-TIM511	-		4
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	-	-	4
タイマ(現在値)	-	TIM000-TIM511		5
カウンタ(現在値)	-	CNT000-CNT511		5
データメモリ	-	DM0000-DM6655		<u></u> 15

1 各デバイスの使用範囲および書き込みの可否については CPU によって異なる場合がありますので、 各 CPU のマニュアルで確認してください。

- 2 CQM1-CPU42のみで使用できます。
- 3 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- 4 書込み不可
- 5 BCDのみ

\_\_\_\_\_

MEMO	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく</li> </ul>
	ださい。

参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア ( ダイレクトアク セス方式専用 )」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「で「表記のルール」

### 6.2 SYSMAC-C シリーズ (CQM1H-CPU51/CQM1H-CPU61)

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出力リレー	000.00 042.15	000 242	- - - - - -	1 3
内部補助リレー	000.00 - 243.15	000-243		
特殊補助リレー	244.00-255.07	244-255		2 3
リンクリレー	LR00.00-LR63.15	LR00-LR63		3
補助記憶リレー	AR00.00-AR27.15	AR00-AR27		3
保持リレー	HR00.00-HR99.15	HR00-HR99		3
タイマ(接点)	TIM000-TIM511	-		4
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	-		4
タイマ(現在値)	-	TIM000-TIM511		5
カウンタ(現在値)	-	CNT000-CNT511		5
データメモリ	-	DM0000-DM6655		<u>⊾,</u> 15) 6
拡張データメモリ	-	EM0000-EM6143		<u>∎, 1</u> 5) <sup>7</sup>

入力リレー / 内部補助リレーのアドレス範囲の中で、アドレスが存在していない部分があります。
 総裁はオムロン(株)製 SYSMAC-CQM1H ユーザーズマニュアルを参照してください。

- 2 特殊補助リレーのビットアドレスは 244.00 254.15 / 255.00 07 となります。 255.08 255.15 の ビットアドレスは存在しません。
- 3 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- 4 書き込み不可

5 BCDのみ

- 6 データメモリ DM の以上格納エリア DM6569-DM6599、PC システム設定エリア DM6600-DM6655 に は書き込みしないでください。
- 7 拡張データメモリ EM は CQM1H-CPU61 のみサポートしています。

MEMO	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。</li> </ul>
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア(ダイレクトアクセ ス方式専用 )」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	<sup>「②「</sup> 「表記のルール」

6.3 SYSMAC- シリーズ

# . システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出力リレー	000.00 - 029.15	000-029		1
入出力リレー	300.00-309.15	300-309		1
内部補助リレー	030.00-235.15	030-235		1
内部補助リレー	310.00-511.15	310-511		1
特殊補助リレー	236.00-255.07	236-255		1
特殊補助リレー	256.00-299.15	256-299	- - - - - - - - -	1
リンクリレー	LR00.00-LR63.15	LR00-LR63		1
補助記憶リレー	AR00.00-AR27.15	AR00-AR27		1
保持リレー	HR00.00-HR99.15	HR00-HR99		1
タイマ(接点)	TIM000-TIM511	-		2
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	-		2
タイマ(現在値)	-	TIM000-TIM511		3
カウンタ(現在値)	-	CNT000-CNT511		3
データメモリ	-	DM0000-DM6655		<sub>в т</sub> 15) <sup>4</sup>
拡張固定データメモリ	-	DM7000-DM9999		<sub>в т</sub> 15) <sup>5</sup>
拡張データメモリ	-	EM0000-EM6143		<sub>в т</sub> 15) б

- 1 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- 2 書き込み不可
- 3 BCD ወን
- 4 存在しないデータメモリエリア (DM6656 ~ DM6999) にアクセスを行った場合の動作は保証でき ません。
- 5 拡張固定 DM の設定を行わずに DM7000 ~ DM9999 にアクセスを行った場合の動作は保証できません。
- 6 拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できません。

MEMO	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。</li> </ul>
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア(ダイレクトアクセ ス方式専用 )」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.4 SYSMAC-CV シリーズ

# : システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出力リレー	000.00 100.15	000 100		1
内部補助リレー	000.00 - 199.15	000-199		1
SYSMAC BUS/2 リモー ト IO リレー	0200.00-0999.15	0200-0999		1
データリンクリレー	1000.00 - 1199.15	1000-1199		1
特殊補助リレー	A000.00 - A511.15	A000-A511		1
保持リレー	1200.00 - 1499.15	1200-1499		1
内部補助リレー	1900.00 - 2299.15	1900-2299	<u>[L/H</u> ]	1
SYSBUS リモート IO リ レー	2300.00 - 2555.15	2300-2555		1
タイマ(接点)	T0000-T1023	-		2
カウンタ(接点)	C0000-C1023	-		2
タイマ(現在値)	-	T0000-T1023		3
カウンタ(現在値)	-	C0000-C1023		3
データメモリ	-	D0000-D9999		<u>вт (</u> 15)

1 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。

2 書き込み不可

3 BCD ወን

МЕМО	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。</li> </ul>
	参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア(ダイレクトアク セス方式専用 )」

表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

# 7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイス&アドレス」 を設定している場合に使用します。

### 7.1 SYSMAC-C シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出力リレー			
内部補助リレー	-	0080	ワードアドレス
特殊補助リレー			
アナログ設定値格納エリア	LR	0088	ワードアドレス
データリンクリレー	-	0080	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス

### 7.2 SYSMAC-Cシリーズ (CQM1H-CPU51 / CQM1H-CPU61)

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出力リレー			
内部補助リレー	-	0080	ワードアドレス
特殊補助リレー			
リンクリレー	LR	0088	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス

次のページに続きます。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0001	ワードアドレス

### 7.3 SYSMAC- シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出力リレー			
入出力リレー			
内部補助リレー		0080	
内部補助リレー	-	0080	リードアドレス
特殊補助リレー			
特殊補助リレー			
リンクリレー	LR	0088	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張固定データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0001	ワードアドレス

## 7.4 SYSMAC-CV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出力リレー			
内部補助リレー			
SYSMAC BUS/2 リモート IO リレー	-	0080	ワードアドレス
データリンクリレー			
特殊補助リレー	А	0085	ワードアドレス
保持リレー	-	0080	ワードアドレス
内部補助リレー	-	0080	ワードアドレス
SYSBUS リモート IO リレー	-	0080	ワードアドレス
タイマ(接点)	Т	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	С	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	Т	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	С	0061	ワードアドレス
データメモリ	D	0000	ワードアドレス

## 8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1:書き込み要求でエラーを受信しました(受信エラーコード:2[02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら ( エラーコード一覧 )」を参照してください。